

令和7年度 学校経営計画

廿日市市立阿品台中学校長 秋本 豪

1 校訓 夢と意欲

2 学校経営目標

生徒・教職員が「阿中家族」となり、保護者から信頼され、地域に愛される学校

3 学校教育目標 「学び」と「貢献」 ～不易流行を思考しながら～

4 めざす生徒像（自立性と自己有用感の向上）

夢に向かって、意欲的に学び続け、学び得た資質・能力を活用し、他者に貢献できる生徒

※「自己を認識する力」、「自分の人生を選択する力」、「表現する力」、社会性（挨拶、目配り、気配り）

<目配り：課題に気づくこと。 気配り：気づいた課題を解決するために行動すること。>

5 めざす教職員像 「すべては生徒のために」と考え、協働して取り組む教職員

～生徒のために、協働して取組を行い、生徒・保護者・地域から信頼される教職員～

6 めざす学校像 「阿中家族」 ～史上最高の阿中をめざし続ける学校～

7 学校経営ビジョン

（1）ユニバーサルデザイン（焦点化・視覚化・共有化）の視点を用いた授業改善による教科学力の向上

○「学びの意義」を考えさせ、学び続ける姿勢を身に付けさせる。

○「本質的な問い」で身に付けさせたい資質・能力等を明確にし、ユニバーサルデザインの視点を基盤としながら、課題発見・解決のプロセスを通して、考えたことや学んだことを表現する場を設定し、「主体的で対話的（内化 $\longleftrightarrow$ 外化）な深い学び」に繋げる。

○ICT機器を活用し、生徒の主体性を向上させ、対話的で深い学びに導くための授業の創造。

○心を耕し、共感的な姿勢や公正さなど伸長する道徳教育の充実。

○SNS等を活用する意義を伝えていくとともに、SNS等での誤った事案で、加害者にも被害者にもならないための、情報モラルを含めた情報活用能力を高めていく取組を行う。

○地域の方の協力を得て進める「阿中寺子屋」の取組を通して、基礎学力の定着を図る。

(2) 特別支援教育の視点に立ち、自立性等を高める生徒指導による生活学力の向上

- 生徒の特性や背景等の理解を進め、個に応じた積極的生徒指導を行い、自立性を高める。
- 学級活動、縦割りの取組や部活動等を通して、社会性を育成する。
- 粘り強く「指導」と「見守り」を継続し、自律性を高める。
- 生徒・教職員に、いじめを許さない風土を醸成するとともに、重大ないじめ事案には対しては、関係機関と積極的に連携を行う。

(3) 将来像を明確にさせ、自己有用感を高めるキャリア教育による生活学力の向上

- 生徒の自己認識力や将来選択能力を高める取組を通して「学びの意義」の理解を深める。
- 他者に貢献する取組を通して、自己有用感や表現力を高めるとともに社会性を身に付けさせる。
- 小中連携事業、PTA活動や地域との連携を通して、郷土や母校への誇りを高める。

(4) 学校教育活動の基盤となる「安全・安心・健康」

- 生徒・教職員が安全で安心して学校生活を行えるように、環境整備や施設管理等を行う。
- 感染症や熱中症等を防止する取組を行い、生徒・教職員の健康維持・促進を図る。

(5) 全教職員が同じベクトルで歩む「阿中家族」

- 生徒・教職員が、ともに教育活動に主体的に取り組み、誰もが過ごしやすいウェルビーイングな学校生活環境を醸成する。
- 教職員が情報を共有しながら協働的に取り組むことで、風通しの良い教職員集団を醸成する。
- 管理職や同僚等への報告・連絡・相談を徹底し、学校体制としての対応を行う。
- 教職員が支え合いながら、ワーク・ライフ・バランスを図ることで、「働き方改革」を進める。

令和7年度廿日市市立阿品台中学校学校経営計画

校訓 夢と意欲

学校経営目標

生徒・教職員が「阿中家族」となり、
保護者から信頼され、地域に愛される学校

学校教育目標 「学び」と「貢献」 ～不易流行を思考しながら～

めざす生徒像

夢に向かって、意欲的に学び続け、学び得た資質・能力を活用し、
他者に貢献できる生徒の育成

めざす教職員像

「すべては生徒のために」と考え、協働して取り組む教職員

めざす学校像 「阿中家族」 ～史上最高の阿中をめざし続ける学校～

自立性・自己有用感

※「自己を認識する力」「自分人生を選択する力」「表現する力」・社会性

学
力
向
上

阿中家族

生
徒
指
導

阿中家族

キ
ャ
リ
ア
教
育

安全・安心・健康